



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <http://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-287-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	28,361	17.7	3,308	33.4	3,343	34.8	2,736	91.5
29年3月期第3四半期	24,100	9.4	2,480	25.4	2,480	25.3	1,428	20.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,823百万円 (96.4%) 29年3月期第3四半期 1,437百万円 (20.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	136.60	
29年3月期第3四半期	71.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,373	13,571	70.1
29年3月期	16,509	11,389	69.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,571百万円 29年3月期 11,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.50		8.50	11.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,560	14.9	3,749	9.9	3,759	10.0	2,822	36.1	140.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 理系の転職株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	20,060,000 株	29年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	110,559 株	29年3月期	2,226 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	20,033,740 株	29年3月期3Q	20,057,774 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や所得・雇用環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調が続きましたが、米国の政策動向や世界的に高まる地政学的リスク、金融市場の動向などが懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成29年12月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.59倍と、前月を0.03ポイント上回り、総務省が発表した平成29年12月の完全失業率(季節調整値)は、2.8%と、前月から0.1ポイント小幅上昇しましたが、全体としては着実に改善を続けております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、全国に展開しております支店が、地域に密着したきめ細かなサービスを提供しておりますとともに、スタッフ養成のための研修所が順調に稼働し、より一層の収益向上に貢献しております。新卒者の常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社、WDBエウレカ株式会社につきましても、全国的にスタッフを派遣しており、それぞれの分野において順調に業容を拡大しております。雇用情勢の改善によるスタッフの確保は、引き続き厳しい状況が予想されますが、より地域に密着した営業活動の実施や、当社グループ独自の研修制度の充実により、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」につきましては、WDBアイシーオー株式会社の業績が堅調に推移しておりますほか、平成29年3月と同6月に子会社化しましたOy Medfiles Ltd. (メドファイルズ社)と株式会社コーブリッジがそれぞれの強みを活かした業務を行っており、第2四半期連結会計期間より当社グループの連結経営成績に貢献しております。この他にもアメリカやインドの各拠点が連携して営業活動を行っており、当社グループの「CRO事業」における更なる成長と収益の向上に取り組んでおります。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、28,361百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

営業利益につきましては、3,308百万円と前年同期と比べ828百万円(前年同期比33.4%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、3,343百万円と前年同期と比べ863百万円(前年同期比34.8%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,736百万円と前年同期と比べ1,307百万円(前年同期比91.5%増)の増益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記の通りとなっております。

① 人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、25,638百万円と前年同期と比べ3,082百万円(前年同期比13.7%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、3,324百万円と前年同期と比べ711百万円(前年同期比27.2%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

② CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,006百万円と前年同期と比べ1,030百万円(前年同期比105.7%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、190百万円と前年同期と比べ105百万円(前年同期比122.8%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③ その他

当セグメントの売上高は、716百万円と前年同期と比べ147百万円(前年同期比25.8%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は85百万円と前年同期と比べ47百万円(前年同期比127.1%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は19,373百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,863百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払金の増加により5,801百万円となり、前連結会計年度末と比較して680百万円の増加となりました。また、純資産は13,571百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,182百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表致しました業績予想に変更はありません。

なお、当社では今年度より、剰余金の配当に関する方針について新たに定めております。詳細は、当社ウェブサイト「剰余金の配当に対する方針について」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,731,203	9,919,059
受取手形及び売掛金	4,175,423	4,714,255
商品及び製品	9,066	9,211
仕掛品	34,386	37,894
原材料及び貯蔵品	114,844	74,602
繰延税金資産	248,876	171,251
その他	372,288	281,236
貸倒引当金	△259	△1,489
流動資産合計	11,685,828	15,206,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,635,868	1,610,179
土地	1,441,263	856,340
その他(純額)	173,709	245,574
有形固定資産合計	3,250,841	2,712,094
無形固定資産		
のれん	21,723	471,134
その他	17,927	37,071
無形固定資産合計	39,650	508,206
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,572,085	987,080
貸倒引当金	△38,858	△40,382
投資その他の資産合計	1,533,227	946,698
固定資産合計	4,823,718	4,166,999
資産合計	16,509,547	19,373,020
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,834	1,826,616
未払法人税等	746,523	636,852
賞与引当金	426,467	355,641
その他	1,582,111	2,232,795
流動負債合計	4,533,936	5,051,905
固定負債		
役員退職慰労引当金	368,350	386,001
退職給付に係る負債	81,745	119,849
資産除去債務	93,200	113,780
その他	42,878	129,529
固定負債合計	586,175	749,160
負債合計	5,120,112	5,801,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	10,146,281	12,571,909
自己株式	△553	△330,419
株主資本合計	11,363,752	13,459,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,896	35,136
為替換算調整勘定	△6,608	64,623
退職給付に係る調整累計額	11,395	12,679
その他の包括利益累計額合計	25,683	112,440
純資産合計	11,389,435	13,571,954
負債純資産合計	16,509,547	19,373,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	24,100,752	28,361,212
売上原価	18,119,705	21,179,726
売上総利益	5,981,047	7,181,485
販売費及び一般管理費	3,500,981	3,872,862
営業利益	2,480,066	3,308,623
営業外収益		
受取利息	64	433
受取配当金	716	888
助成金収入	-	12,946
還付加算金	532	358
受取保険金	511	2,457
保険解約返戻金	-	16,192
雑収入	4,724	7,287
営業外収益合計	6,549	40,563
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	6,091	5,346
営業外費用合計	6,091	5,346
経常利益	2,480,523	3,343,840
特別利益		
固定資産売却益	-	945,015
受取保険金	20,000	-
特別利益合計	20,000	945,015
特別損失		
固定資産売却損	608	-
固定資産除却損	2,551	684
減損損失	129,113	-
特別損失合計	132,272	684
税金等調整前四半期純利益	2,368,250	4,288,172
法人税、住民税及び事業税	830,624	1,482,735
法人税等調整額	108,801	68,913
法人税等合計	939,425	1,551,648
四半期純利益	1,428,824	2,736,523
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,428,824	2,736,523

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,428,824	2,736,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,145	14,240
為替換算調整勘定	△3,257	71,231
退職給付に係る調整額	9,671	1,283
その他の包括利益合計	8,559	86,756
四半期包括利益	1,437,384	2,823,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,437,384	2,823,279
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,555,670	975,414	23,531,084	569,668	24,100,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,531	72	18,603	—	18,603
計	22,574,201	975,486	23,549,687	569,668	24,119,356
セグメント利益	2,612,704	85,726	2,698,431	37,448	2,735,879

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品の製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,698,431
「その他」の区分の利益	37,448
全社費用(注)	△255,813
四半期連結損益計算書の営業利益	2,480,066

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「人材サービス事業」セグメントにおいて、中央研究所(千葉県松戸市)の建物の解体に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては129,113千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,638,348	2,006,075	27,644,423	716,788	28,361,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,830	—	17,830	—	17,830
計	25,656,178	2,006,075	27,662,254	716,788	28,379,042
セグメント利益	3,324,123	190,957	3,515,080	85,037	3,600,118

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品の製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,515,080
「その他」の区分の利益	85,037
全社費用(注)	△291,494
四半期連結損益計算書の営業利益	3,308,623

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「CRO事業」セグメントにおいて、Oy Medfiles Ltd. 及び株式会社コーブリッジを連結の範囲に含めておりません。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において470,296千円であります。